

活性化伝道師」(内閣官房)にも選定され、11月には「地域情報化アドバイザー」(総務省)にも選定された。これらの人的ネットワークを活用して、四国西南地域の活性化、ブランド化に取り組みたいと考えている。

3. 最後に

これからの時代は、その地域の生活(暮らし)が最大の観光資源になりうるものであり、それにつながる情報をいかに大都市圏や海外に売り込んで、四国西南地域を滞在型の観光地にしてゆくかが重要な課題である。四国西南地域で、是非、その仕組みを作ることができればと考えている。「地域力」を向上させる仕組み作りである。

(参考)

三原村ホームページ

<http://www.vill.mihara.kochi.jp/>

土佐三原どぶろくのご案内

<http://www.kochi-shokokai.jp/mihara/doc/doburoku.html>

三原村濁酒特区(H16.12)農家レストラン等での濁酒の製造・販売(首相官邸)

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kouzou2/kouhyou/041208/dai6/079toke.pdf>

土佐経済同友会二〇〇七年提言「高知県経済活性化の方向性と活性化策に関する提言」

<http://www.tosa-te.ne.jp/~tosadoyu/pdf/2007-teigen.pdf>

「地域産業おこしに燃える人」(内閣官房・経済産業省)

<http://www.kantei.go.jp/jp/kakugikettei/2003/0917moeru.html>

燃える人ブログ：<http://blog.moeruhito.com/>

Profile 坂本 世津夫(さかもと せつお)

1956年高知県南国市生まれ。四国銀行、愛媛大学客員助教授などを経て現職。日本の情報化を、地域という視点で見直し、地域における「知的能力」と「コミュニケーション能力」を高めることにより、新たな産業集積や地域の活性化(地域の自立)が実現できないか研究・実践している。地域産業おこしに燃える人(内閣官房・経済産業省)、地域活性化伝道師(内閣官房)、地域情報化アドバイザー(総務省)等。
